

■「第11回定期総会を終えて」 JVCシニアクラブ会長 菅沼 喜久次

猛暑日が何日も続き、残暑も厳しかった今年の夏から、一気に秋の気配となり、爽やかな気節になってきた今日この頃ですが、会員各位におかれましては、益々ご壮健にてご活躍のことと拝察し、心からお慶び申し上げます。



日頃より、JVCシニアクラブの諸活動に対する、ご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。おかげさまで当組織も結成満10年を迎え、第11回定期総会を10月6日(土)に開催して、今日私たちをとりまく状況を踏まえた、向こう一年間の活動計画を決定致しました。

その内容については、同封にてお届けしました、「平成25年度定期総会議案書」と「総会議事録」をご覧くださいご理解を賜りますようお願い致します。

さて今日のが国の状況は、あらゆる分野に於いて、内憂外患・難問山積のまさに崖っぷちに立たされた局面におかれております。内政面では、衆参両院の所謂「ねじれ国会」で、著しく政治が停滞し「決められない政治」体制となっております。

3年前の総選挙で政権交代が実現しましたが、民主党の稚拙な政権運営により、3代目の総理の交替があり、この間に内閣の改造が5回も行われ、「少子化担当」10人、「消費者食品安全担当」9人、「法務」8人、「拉致担当」7人と、この3年で目まぐるしく大臣が入れ替わりました。さらに別の部門でも政府3役の交代劇などあって、声高にうたった政治主導とは程遠く、政策軽視も甚だしいもので、これが野田総理のいう適材適所の人事などとは、国民の理解と信頼を得ることはとうてい出来るものではありません。

「税と社会保障の一体改革」の 民・自・公3党合意でなされた「近いうち解散」をめぐるの、与野党の駆け引きは、正に国民不在の党利党略そのものであります。

国民生活に重大な影響を齎す、「特例公債法案」「一票の格差是正と議員定数削減」等の成立が急がれている中で、党首会談や臨時国会の開催が不透明のままです。

いずれにしても来年7月までには、衆議院・参議院の二大政選挙が行われます。混迷・混乱の中で行われるこの選挙結果如何が、わが国の将来を左右させるものとなるでしょう。私たちは果たしてどの政党か、誰を支持するのか、全く見当がつかない難しい判断を迫られているのが現状であります。

いずれ上部組織からの、何らかの指示なり要請があるものと思います。それらを勘案し、役員会にて協議の上、会員各位に報告なりご要請をする事に致します。

結成満10年の活動実績を踏まえ、11年目の本年度活動充実強化のため、会員各位の更なるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



平成25年度定期総会参加者記念写真(勤労会館)

## ■定期総会講演会 講演要旨報告:西川 せいし流山市議員「シニアのチャレンジ」

JVC現役時代、バレーボールで全国優勝して一つの目標を果たし、バレーを引退して業務中心に転換。社内で初の経理 트레이ニーとして米国に派遣されたのがきっかけで仕事の中心は海外関係が多くなった。

ドイツ現地法人の責任者や海外営業関係の仕事に取り組み、最後は厚生年金基金の常務理事として会社を卒業した。その翌年に開催された2002年日韓ワールドカップ・サッカー大会では、ドイツチームの通訳としてチームに同行し、日独警察官の警備活動を支援した。

それまでの自分を振り返ると、それぞれに充実した活動をしてきた感が大きかった。

さて、次に何をするか……。ある時、市長選を応援することになった事から、市の行政への関心が強くなり、自らも地域のために行動したいという気持ちが湧いてきた。

70歳を直前にして立候補を決意！ 毎朝、地元の駅前までマイク片手に「子供に安全を、シニアに安心を」と訴え、2000票以上の票を集めて当選することができた。

市議の中に元松下電産出身の人がいて、協力しながら議会改革に取り組んでいる。議員定数削減など訴えるも、各議員それぞれの立場があり、改革は容易ではない。議員を選ぶのは市民であり、地域が良くなるも、ならないも市民次第であると断言します。皆が、市政に関心を持ち、議会を注視するとともに、シニアとしても、自らが『市議員』に立候補して地域のために働くという“転職の勧め”をJVC卒業生への提案としたい。

## ■第一回スカイツリー見学会が開催されました（8月30日）

シニアクラブ会員と家族・友人で40名が参加。長い行列が続く中、団体予約のため、待ち時間もなく登ることができました。次は11月9日（金）に90名参加で実施されます。



## ■事務局から

1) 会員名簿の最新版を同封しました。ご自身の欄に間違いがないかご確認ください。

更に、組織拡大のために知人・友人に当クラブのPRと加入を呼びかけてください。

2) 今回の総会で承認され、役員全員が向う2年間、継続して担当することになりました。



事務局次長は、現役労働組合の中央執行委員が担当し、労組本部の業務に加えてシニアクラブの事務作業を行っています。

今まで担当していた延広 堅太郎さんが職場復帰したため、今回、上村 孝博(かみむら たかひろ)さんに交代しました。皆様の直接の窓口となりますので、よろしく願いいたします。(写真左)

3) 会員の中で、趣味や特技に秀でた人、いろいろな知識・体験をした人を中心に勉強会や講演会などを開催し、お互いの絆をより強いものにする場としていきたいと思っています。

定期総会での西川さんの講演に続き、懇親会では、西川さんの選対で活躍中の白岩 仙一さん、社労士ほかいくつもの資格を持ってご活躍の柴崎 等さん、博士号を取られた秦 孝浩さんの3名の方からお話を伺いました。皆様の中で、こんなことが得意だ、こんなボランティア活動をしている・・・等、お話いただける方を自選・他選でご紹介ください。



【連絡先】労組本部電話:045-453-2511 e-mail:jvc senior@ujvc.jp 事務局長 田代 周